

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 5日

事業所名 おひさまはうす

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	2	家具の配置などでうまく動線を整理できるよう検討している	部屋は狭いと思う→家具の再配置や過ごす場所の整理等を実施したい
	2	職員の配置数は適切である	2	3	1	通常より1.5人以上多く配置している	今の人数にもう一人増えると、急な事情が出た時に慌てずに対応出来ると思う→活動場所と活動内容、スタッフ配置など検討していきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	3		二階への車いすの移動は厳しいが、最大限努力はしている→機会の差にはならないよう検討していきたい
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	2	1	毎日、朝・昼・就業前にその日の実施内容とその振り返りを実施している	つい目標設定と方法論の話が混同しやすい（例：自立して洗濯物をたためるように、が目標だったはずが、視覚的な手順書に従ってすることを一生懸命教えてしまう、など）→注意をしながら振り返りを行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2	1	長期休み後にご本人や保護者の方に感想を聞いている	形式的なアンケートは年に1回なので、今後は頻度やタイミングなども検討し、意向の把握や業務改善につなげたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			必ずHPにアップしている	今後も継続して取り組んでいく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		法人に関係する保護者の方など、様々な立場の方の意見を取り入れている	今後も継続して取り組んでいく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			自閉症eサービスの年間パスを取得したり、内部研修や法人主催のワークショップなど	法人内にとどまらず、地域に向けた取り組みにも展開していきたい
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	4		簡易の評価キットを使用している	出来る範囲で行っているが、適切ではないかもしれない。一部の職員しか評価キットを扱ってのアセスメントが実施できないため、職員の質の向上が必要
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4		バイナランドなどを実施したいが、なかなか活用できていない現状がある	来年度は活用できるようにしていく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		1	毎回スタッフM等で検討している	一部の職員がメインで進めており、チームとしてまだ未熟さを感じるため、意見だしの方法など検討したい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		1	同上	準備にかなり時間がかかる→目的・準備・実施・振り返りまでが円滑に行うことができるよう検討したい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		1	今年度は特に意思決定とそれを保護者の人にも一緒に参加していただくような形に力を入れた	こちらが提示する課題を実施することも必要だと考えるが、自分で選択して参加するような活動も必要だと感じる。準備は大変だが継続していきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			個別療育・集団活動・活動別の集団など、様々な枠組みで実施できるようにしている	お子さんのタイプに合わせた取り組みが、なかなか思うように進めない時もあります。日にちを変えて取り組んでいる
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		朝・昼・就業前に必ず振り返りを実施している	イベント的なプログラムがある時は、しっかりした打ち合わせをしているため、円滑にプログラムを提供できている。今後も継続していきたい。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			毎回は行っているが、関わっている一部の職員とのやり取りが中心	今後、振り返りのあり方について検討していきたい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		必要に応じて、記録用紙の形状を変更しながら進めている	今後も継続して取り組んでいく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	4		基本的に迎え時に保護者の方と少しでもやり取りをできるようにしているが、お子さんに状況もあるが頻度や時間に差がでてしまっている	モニタリングの在り方を再度検討したい（保護者交流会と抱き合わせる、土曜日にフリー懇談会を設けるなど）
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2	1	5領域を意識しながら実施しているが、うまく周囲できていない	支援計画の作成様式の見直しを実施したい
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			必ず全体像を把握している管理者が参加している。必要に応じて、事前に現場支援スタッフに状況確認をしている	管理者が中心となっているため、今後は現場スタッフも積極的に参加できるようにしていきたい
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			近隣市町の学校の先生からかなり積極的に情報交換して下さっていることもあり、円滑に進んでいる	もう少し保護者の方との連絡調整を整理したいと考えている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3			行政や近隣の保育所等については円滑に連携できており、必要に応じて以前の様子を確認している	今後もよい関係を継続していきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4			今年度については対象となる児がいなかった。必要に応じて、法人独自のサポートブックを提供している。	法人独自のサポートブックについて、内容がかなり多く、うまく書きにくい部分がある等の意見があったため、来年度は改編したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			自立支援協議会に積極的に参加し、意見交換等行っている	今後も継続して取り組んでいく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2		4	必要性も感じるが、利用するお子さんの自己認知の観点から配慮している	地域小学校に通っているお子さんの利用が増えてきたため、自己理解・他者理解については慎重に進めたい
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3		2	自立支援協議会に積極的に参加し、意見交換等行っている	今後も継続して取り組んでいく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		基本的に迎え時に保護者の方と少しでもやり取りをできるようにしているが、お子さんに状況もあるが頻度や時間に差がでてしまっている	モニタリングの在り方を再度検討したい（保護者交流会と抱き合わせる、土曜日にフリー懇談会を設けるなど）
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2		2	法人主催の研修やワークショップなどを実施している。ただ、託児ありでの実施が現状難しい	託児ありのプログラムを検討するなど、今後運営に工夫が必要だと感じている

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		1	玄関に常に掲示している	今後も継続して取り組んでいく。また来年度は報酬改定もあるため、再度丁寧に説明する必要があると考えている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			基本的に迎え時に保護者の方と少しでもやり取りをできるようにしているが、お子さんの状況もあるが頻度や時間に差がでてしまっている	相談内容が早急な場合は、管理者や上司に伝えて交代している。上司不在の場合は、後日上司から連絡してもらっている。→今後も継続して取り組んでいく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	2	今年度はなかなか実施できなかった	法人内の保護者を中心とした交流会や地域に開かれた交流会を検討するなどしていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			何かご意見をいただいた際には、すぐに対応できるように心がけている	今後も継続して取り組んでいく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			毎月のおひさまsmileを会報として提供している	今後も継続して取り組んでいく
	35	個人情報に十分注意している	5	1		様々な繋がりが多々ある地域のため気を付けて対応している	今後も継続して取り組んでいく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			視覚的な支援などを活用し、特に意思決定については意識して取り組んでいる	今後も継続して取り組んでいく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		2	今年度は地域住民の方とのコラボ企画は実施できなかった	地域の資源を活用する活動はかなり積極的に行い、地域住民の方とのやり取りも行うことはできた。地域に開かれた運営については、今後も検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	1	マニュアルについては、各種事務所のだれでも見やすい場所にまとめて、いつでも確認できるように設置している	訓練についてはもう少し頻度を上げて検討していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2	2	上記のように訓練の頻度に少なさを感ずる	消防と連携しながら進めていきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			毎年かならず全職員に対し虐待防止の研修を行っている	今後については、支援の向上を目指し、虐待の未然防止につなげていきたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			必要に応じて適切に記載し、対応している	今後も継続して取り組んでいく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		現状はないが必要に応じて適切に対応する	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		少しのことでも気がなったことがあれば、業務日誌等で共有している	今後も継続して取り組んでいく